

宿泊施設・複合公共施設・橋ふれあい公園について

Q 優遇措置の条例制定や無償で提供する土地を1億3千万円で買入れる等、市の誘致体制は整ったが、ホテルの建設計画が進まないのはなぜか。

A 事業者によると、オリンピック開催に向けた建設需要の高まりにより、実設計や建設業者の選定が遅れているためです。

Q 既存宿泊施設の稼働率調査の結果は、16事業者に調査をお願いし、14事業者から回答をいただきました。稼働率は、ビジネスホテル62%、旅館10%でした。

A 市内宿泊事業者が事業を続けるために、市はどのような支援を考えているか。

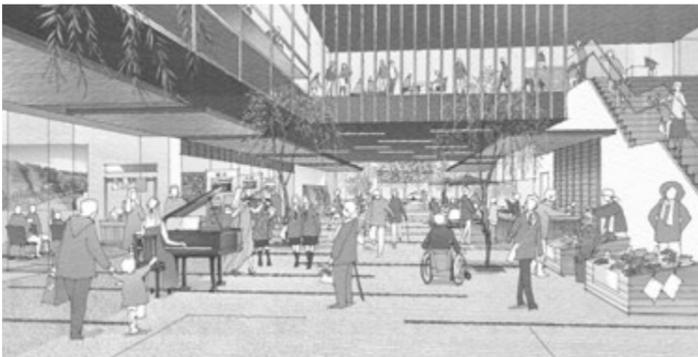
Q ①協議会を設立し統一パンフレットを作成してPR効果を高める ②観光協会や各種団体等との連携で宿泊プランの充実を図る ③環境整備へ支援を充実する ④宿泊観光へのインフラ整備の充実—を考えています。



すずき せいじ 鈴木 聖二 議員

Q 旧清見屋跡地を活用する複合施設に入る機能は、

A 観光情報発信施設、子育て支援施設、図書館、公民館に値する施設、福祉関連施設、市民活動支援センターなどです。



旧清見屋跡地を活用する複合公共施設に設置される1階の「(仮称)佐原通り」内観イメージ図

有害鳥獣対策について

Q 市は、有害鳥獣の捕獲に協力している猟友会をどのような位置づけで、どのように考えているのか。

A 有害鳥獣被害防止対策、有害鳥獣駆除事業を実施するために欠くことのできない団体パートナーと考えています。



くぼ せいじ 久保 清司 議員

Q わなにタヌキがかかった場合の対応は、

A 駆除する場合や保護する場合など状況により対応が異なりますので、環境安全課にご相談ください。

Q 市の有害鳥獣の種類は。また、地区の特徴は。

A 鳥類は、カラス、ムクドリ、カワウなど、獣類はイノシシ、ハクビシン、タヌキ、アライグマなどが対象鳥獣となっています。市街地を含む市内全域でカラス、ムクドリ、ハクビシン、タヌキが、河川付近ではカワウが見られます。また、近年急速に増えているイノシシは、東大戸地区の他、大倉地区で確認されている状況です。

Q 市の有害鳥獣の捕獲計画は。また、捕獲実績数は。

A 平成28年度の捕獲計画は、イノシシ10頭、ハクビシン180頭、アライグマ

Q 施設の建築面積、延床面積、階数、概算事業費は。

A 建築面積は1,853㎡、延床面積は6,400㎡、階数は4階建てで、概算事業費は約39億円です。

Q イベントを行う場所の真上の2階にある図書館の静粛性をどう確保するのか。

A 吹き抜けとなっている2階部分は、強化ガラスなどを巡らせて、遮音性を高めていきます。スピーカーなどの音響機器の使用を控える等の施設運用を検討していきたいと考えています。

Q 橋ふれあい公園の(仮称)交流館建設費、パークゴルフ場整備費、公園全体の総事業費および関連道路の整備費は。

A (仮称)交流館建設費は、外構等を含め約8億4,000万円、パークゴルフ場整備費は、第1工区全体となりますが、用地取得費を含めて約6億3,000万円、公園全体の総事業費は約25億円、市道1-51号線の整備費は、約5億5,400万円を見込んでいます。

Q 市のパークゴルフ協会の登録者数および平成28年度からの増減は。

A 平成28年度末現在で229人、会員数は横ばいとのこと。

Q 猟友会の高齢化により、捕獲活動が困難になる事が予想されるが、市としての対策・対応は。

A 猟友会の高齢化、後継者不足は全国的な問題で、市でも深刻な問題と受け止めています。このことから、平成28年度から狩猟免許取得に要する費用の一部を補助する制度を設け、猟友会員の増加、後継者の育成を図っています。平成28年度実績は2人ですが、更に多くの人に活動していただるように推進したいと考えています。

Q 市が猟友会に出している補助金は、近隣市町と比べると少額と聞いている。近隣市町に合わせる考えは。

A 有害鳥獣捕獲事業委託料は、毎年金額を上げさせていただいていますが、近隣市町の状況、実質的経費を踏まえて協議していきたいと考えています。



市の有害鳥獣駆除を担う猟友会メンバー